

阿賀野川河川管理レポート 2024



職員による堤防点検



五泉市立愛宕小学校の4年生児童が満願寺閘門を見学



国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

はじめに

□河川の維持管理の基本

台風や集中豪雨による洪水災害が毎年のように全国各地で発生しており、令和元年10月には東日本台風(台風19号)災害が発生しました。このような中で、ハード対策として堤防整備、強化とあわせて既存の河川管理施設を適切に維持管理し、洪水被害に対する安全性を確保していくことが重要です。また、ソフト面の対策として関東・東北豪雨災害の教訓を踏まえて、地域の皆様と共に、情報をいかに迅速にわかりやすく伝えるかなどの取り組みを充実させることが重要となっています。

□河川管理レポートについて

この「阿賀野川河川管理レポート」は、沿川地域の皆様が普段目にされていない「日々の阿賀野川の維持管理」について、広くお知らせすることを目的として、令和6年度に実施した内容について公表するものです。

□阿賀野川河川維持管理計画について

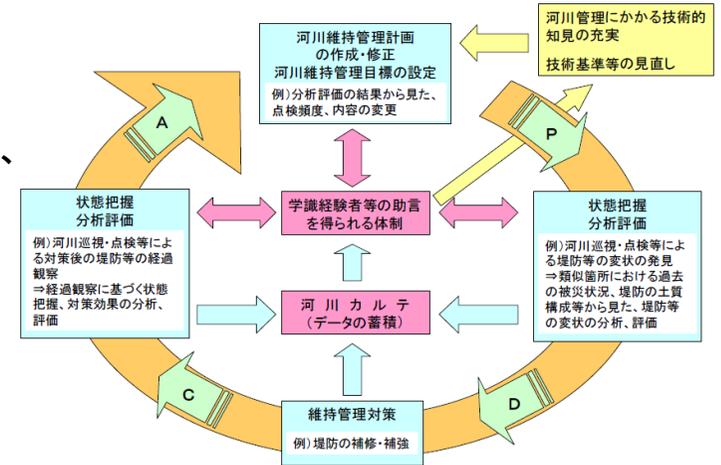
阿賀野川の維持管理にあたって、河川の特徴をふまえ、維持管理の目標、実施内容、その頻度や時期等の具体的な事項を「阿賀野川河川維持管理計画」に定めています。

□サイクル型維持管理の実施

河川維持管理計画により計画的な維持管理を継続的に行うとともに、河川の状態変化の監視、状態の評価、評価結果に基づく改善を一連のサイクルとしたPDCAサイクル型維持管理により効率的、効果的に実施していきます。



平成23年7月洪水の状況(阿賀浦橋上流から下流を望む)



目次

1. 河川の概要と流域治水・減災のとりくみ

- 阿賀野川の概要1
- 最近の出水に見られる脅威2
- 主要な河川整備事業3
- 流域治水及び減災対策のとりくみ4

2. 維持管理業務の概要

- 河川維持管理における主な内容7
- 河川巡視業務の概要
～堤防等の異状・変状を早期に発見～8
- 堤防・水門など河川管理施設の点検9
- 河川親水施設の安全利用点検を実施10
- 河口部の維持管理12
- 沢海・渡場床固の維持管理13
- 水衝部の監視、施設管理
～3大水衝部対策と水制工の維持管理～14
- 胡桃山排水機場・太田川排水機場の役割と点検15
- 堤防除草 ～処理費用縮減と環境負荷低減の取り組み～16
- 樹木伐採 ～3つのコスト縮減の取り組み～17

3. 防災に関する活動

- 出水期に備えた洪水時の対応演習18
- 出水に備え地域の皆さんと重要水防箇所の合同巡視19
- 阿賀野川専門防災エキスパートとの連携強化
～経験生かした防災活動支援と技術の伝承～20

4. 地域と連携した活動

- 川の水質事故を未然に防ぐために
～阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会～21
- 満願寺閘門アユ・サケ遡上フォロー操作支援22
- 阿賀野川自然再生モニタリング検討会
～かつての河川環境の再生を目指して活動～23
- 地元小中学生の「川の総合学習」を支援24
- 地元小学生と一緒に水生生物調査25
- ボランティアサポートプログラム(VSP)26
- 阿賀野川をきれいにする会(クリーン作戦)27
- やめよう不法投棄、美しい阿賀野川をいつまでも28

阿賀野川の概要

阿賀野川は、幹川流路延長210km、流域面積7,710km²の日本有数の大河です。一年間に流れ出る水の量は全国でも最大級、かつ最も安定していると言われています。阿賀野川流域の水利用は、発電用水、かんがい用水等に供給され、越後の地域に「恵み」をもたらしてきました。また漁業や舟下り、河川公園等の親水空間には人々が集い、滔々とした流れは、まさに「母なる大河」として親しまれています。

一方で、人々の生活や経済活動に深刻な影響を与えた阿賀野川の洪水は数多くあります。近年では平成23年7月新潟・福島豪雨による洪水は記録的なものでした。さらに、越後平野を流れる阿賀野川の中下流河道は水衝部が多く、周辺地域は低平地を呈しています。

このような阿賀野川の流域周辺には、重要交通網や日本海側唯一の政令指定都市が存在します。よって、洪水被害を防ぐ河川改修や堤防等河川管理施設の維持管理は極めて重要なものとなっています



阿賀野川流域の諸元		
項目	諸元	備考
流域面積	7,710km ²	全国第8位
幹川流路延長	210km	全国第10位
流域内市町村	新潟県 6市2町	平成27年3月現在
	福島県 3市11町 5村	
	群馬県 1村	
流域内人口	約56万人	平成17年河川現況調査
河川数	246	一級河川(準用河川・普通河川は除く)



- 広大な流域と長大な流路
- 年間流出量129億トン
- 山々に囲まれた広大な空間が流域の8割を占め、会津地方に川が集中
- 越後平野と会津盆地で 気候や降雨特性が変わる。

最近の出水に見られる脅威

最近の気象変化から全国各地で短時間に多量の雨が降る頻度が増え、その豪雨・出水被害が頻発しており、平成に入ってから特に大きな洪水が発生しています。平成23年7月の新潟・福島豪雨では観測史上最大を記録したほか、令和元年10月の東日本台風(台風19号)でも既往第3位の出水となるなど、これまで以上に洪水への備えが必要になっています。

過去の主要な洪水

	出水年	流量(m ³ /s)
第1位	平成23年7月 (2011)	9950
第2位	昭和33年9月 (1958)	8930
第3位	令和元年10月 (2019)	8670
第4位	平成16年7月 (2004)	7890
第5位	昭和53年6月 (1978)	7870
第6位	昭和31年7月 (1956)	7780
第7位	昭和56年6月 (1981)	7370
第8位	平成27年9月 (2015)	6830
第9位	昭和57年9月 (1982)	6360
第10位	昭和44年8月 (1969)	6060



平成23年7月洪水の状況(沢海付近上空から下流を望む)



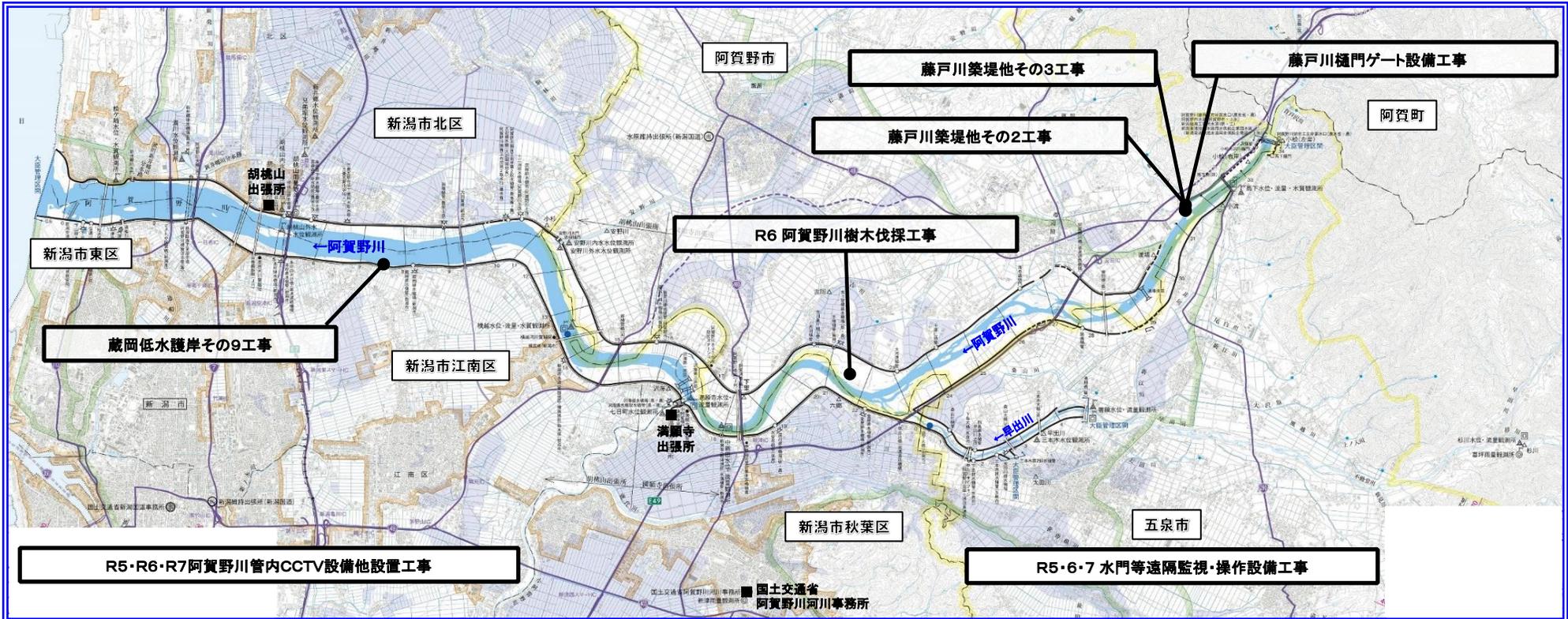
平常時の阿賀野川橋梁付近(平成27年5月)



平成23年7月出水時の阿賀野川橋梁付近

主要な河川整備事業

阿賀野川におけるハード対策としての主要な河川整備事業は、河道断面が計画断面に満たない区間について、洪水を安全に流下させるよう流下能力対策として河道掘削・樹木伐採・堤防整備を行い、また、阿賀野川の特徴を踏まえて、侵食対策や浸透対策といった質的整備も併せて実施しています。



■上記図中の工事以外

- R6阿賀野川維持管理工事
- R6阿賀野川堤防管理作業
- 令和6年度阿賀野川河川事務所電気通信施設保守業務
- R5排水機場運転支援装置更新工事
- 令和6年度水閘門等点検整備業務
- 令和6年度排水機場点検整備業務

流域治水及び減災対策のとりのくみ①

令和4年3月に策定（令和5年3月更新）した“阿賀野川水系流域治水プロジェクト”を、より一層推進を行い、浸水被害防止・軽減を図るべく、令和7年3月18日に「阿賀野川水系（阿賀野川）流域治水会議」および「阿賀野川大規模氾濫減災対策協議会」を開催し、流域治水プロジェクトのさらなる充実を図りました。また、気候変動を踏まえた河川及び流域での対策の方向性を流域治水プロジェクト2.0としてとりまとめ、流域関係者で共有しました。

開催概要

■日時 令和7年3月18日（火） 13:15～15:00

■会場 阿賀野川河川事務所 2階会議室（web併用）

■出席者

<構成機関>

新潟市、五泉市、阿賀野市、新発田市、阿賀町、東北電力（株）会津若松支社、新潟県（新潟地域振興局地域整備部、農林振興部、新津地域整備部、津川地区振興事務所、新発田地域振興局地域整備部、農村整備部）、新潟地方气象台、農林水産省北陸農政局、林野庁関東森林管理局下越森林管理署、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター新潟水源林整備事事務所、阿賀野川河川事務所

<オブザーバー>

東日本旅客鉄道（株）新潟支社

■議事

- 阿賀野川水系流域治水プロジェクト及び2.0の更新
- 流域治水の自分事化（令和6年度フォローアップ、令和7年度取組計画）
- 流域の取組内容
- 情報提供・共有



会議状況（Web併用）

議事内容

- ・プロジェクトの指標等更新及び2.0の公表案の確認、流域治水の自分事化の確認。
- ・各機関より、流域治水及び減災に係る取組内容・状況を説明いただき、取組の進捗を確認。

プロジェクトの指標確認

流域治水の代表的な取組の実施状況を「見える化」するための指標等を確認。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

被害対象を減少させるための対策

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策



流域治水及び減災対策のとりくみ②

令和6年5月16日に阿賀野川水系早出川左岸・太田川排水機場付近において、阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会主催の内水排除訓練を行いました。照明車を配置して排水ポンプ車及び緊急排水ポンプの設置・排水・撤去訓練を実施しました。

参加機関：新潟県新潟地域振興局(津川地区振興事務所含む)、新潟県新発田地域振興局、新潟県新津地域振興局、新潟市、五泉市、阿賀野市、阿賀野川河川事務所(18名)



位置図



川表側全景

五泉市三本木地先 (太田川排水機場)

排水訓練の状況



流域治水及び減災対策のとりくみ③

令和5年5月11日に五泉市論瀨樋管において、阿賀野川河川事務所職員・地震時巡視員合同で、洪水及び地震対策として樋門等のゲート操作訓練を実施しました。訓練では論瀨樋管のゲートを実際に操作し、操作手順の確認を行いました。

参加者：阿賀野川河川事務所職員(6名)、地震時巡視員(6名)、点検業者(1名)

位置図



五泉市論瀨地先（論瀨樋管）

令和6年は諸般の事情により
開催中止となりました。



川表側全景

操作訓練の状況

樋門・樋管の操作



操作訓練では、洪水時に慌てずゲートが開閉操作できるよう実際に樋門・樋管の開閉操作を経験しました。

手動操作

地震や洪水時に
停電が発生した場合
に備え、手動操作も
実施しました。
※操作レバーは重く、
体重をかけないと動
きません。



河川維持管理における主な内容

河川の維持管理は、①治水・利水・環境という河川法の目的に応じた管理、②渇水から平常時、洪水時までの河川の状態に応じた管理、③堤防、水門、樋門・樋管等といった河川管理施設の種類に応じた管理というように、内容は多岐にわたり、「阿賀野川河川維持管理計画」に基づいて、河川巡視・点検、調査等を継続的、定期的を実施しています。

また、堤防等の河川管理施設の機能を維持するため、巡視・点検、調査等により変状の状態把握を行い、必要に応じて補修を実施しています。

河川の状態把握



河川巡視



堤防護岸等施設の点検

堤防護岸、水制、床固 河道、河川空間の維持管理



流木処理



堤防除草



補修工施工前

護岸の補修



補修工施工後



樹木繁茂例

河道内樹木伐採



樹木伐採例



不法投棄防止、塵芥処理

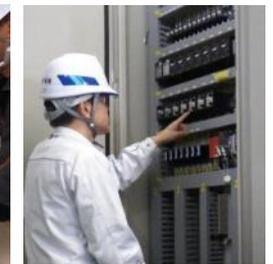


河口部堆積土砂掘削

樋門・樋管、水門、排水 機場等施設の維持管理



樋門ゲート
ワイヤーロープ
グリスアップ



排水機場施設
制御盤点検



樋門ゲート 扉体点検

河川巡視業務の概要 ～堤防等の異状・変状を早期に発見～

堤防・水門など河川管理施設の状況把握、河川区域内での危険・違法行為の発見、自然環境に関する情報収集を目的として、定期的な河川巡視を行っています。平常時昼間の一般巡視と併せて、早朝・夜間巡視や河川管理施設ごとに徒歩・巡視船による目的別巡視を行うことにより、異状・変状の早期発見・対処に努めています。その他、出水後や地震発生後の被災状況等を把握するため、臨時の巡視・点検も行っています。

【河川巡視項目】

- (1)河川区域等における違法行為の発見及び報告
 …許可が必要とされている行為を無許可で行っていたり、禁止されている行為を行っている者について発見した場合その状況を把握し報告
- (2)河川管理施設及び許可工作物の維持管理の状況の把握
 …河川管理施設がそれぞれ求められる機能を十分発揮するため、その状況を目視レベルで把握し、認められた変状について報告
- (3)河川空間の利用に関する情報収集
- (4)河川の自然環境に関する情報収集

巡視項目	巡視内容	頻度
一般巡視(平常時昼間)	車両から巡視を行う。直轄管理区間にある河川管理施設及び許可工作物の維持状況の把握、河川空間の利用や自然環境に関する情報収集を行う。	平均週2～3回
一般巡視(早朝・夜間)	夏期においては、早朝・夜間の危険・違法行為発見を目的に巡視を行う。	月2回以上
目的別巡視	護岸・水門など詳細な状況把握が必要な施設は徒歩や巡視船から巡視する。	月1回以上
出水時の河川巡視	出水の恐れがあるとき、あるいは出水後に被害の有無など情報収集を行う。	出水時



車両による一般巡視
(水辺プラザ付近)



夜間の一般巡視
(大阿賀橋付近)



巡視船による目的別巡視
(不法係留船監視)



徒歩巡視
(特殊堤状況の確認)



出水時巡視
(胡桃山出張所管内)

堤防・水門など河川管理施設の点検

台風期の出水に備えて、当事務所職員が管内の堤防・護岸、水門・樋門などの河川管理施設を対象として、徒歩による目視点検を行いました。河川維持管理・補修を適切に行うためには、河川の状態把握を職員自らが行い、必要な対策を実施することが重要です。当事務所管内の堤防・護岸、水門・樋門などの河川管理施設を対象として、徒歩を中心とした目視点検を行い、これら施設の変状を直接把握し、問題箇所については必要な対策を講じています。

堤防等点検概要

- 日 時: 令和6年10月9日(水)9時30分～15時40分
- 点検箇所: 9箇所
- 参加者: 事務所職員10名、業務受注関係者等5名



高森地先堤防川裏法肩「川裏天端肩陥没」



古川樋門「樹木繁茂による支障」

河川親水施設の安全利用点検を実施

阿賀野川管内の親水施設を対象に、子供たちをはじめとする市民の皆さんに安心して利用して頂くという観点から、河川巡視に加え、ゴールデンウィーク前と夏休み前の年2回、安全利用点検を実施しています。

点検には新潟市及び阿賀野市の公園管理担当職員にも参加いただき、水遊び場・親水護岸や公園内設備の点検を実施しました。

【ゴールデンウィーク前の安全利用点検概要】

- 日 時: 令和6年4月16日(火) 9:20 ~ 15:40
- 参加者: 河川管理を行う当事務所職員
河川公園の管理を行う自治体職員(新潟市、阿賀野市)
- 点検箇所: 阿賀野川河川公園等 8箇所
- 点検ルート
 - ①阿賀野川床固め公園
 - ②阿賀野川フラワーライン
 - ③阿賀野川河川公園(左岸)
 - ④阿賀野川ふれあい公園
 - ⑤籠尻川公園
 - ⑥阿賀野川水辺プラザ
 - ⑦安田橋運動公園
 - ⑧阿賀野川河川公園(右岸)



阿賀野川河川公園

【夏休み前の安全利用点検概要】

- 日 時: 令和6年6月24日(月) 9:40 ~ 15:50
- 参加者: 河川管理を行う当事務所職員
河川公園の管理を行う自治体職員(新潟市、阿賀野市)
- 点検箇所: 阿賀野川河川公園等 8箇所
- 点検ルート
 - ①ひょうたん池
 - ②松浜本町地区低水護岸
 - ③本所地区船着場
 - ④沢海地区船着場・低水護岸
 - ⑤小浮地区河原
 - ⑥清瀬地区河原
 - ⑦赤海地区河原
 - ⑧三本木地区河原



松浜本町地区低水護岸

河口部の維持管理① ～河口砂州の管理～

阿賀野川河口では、かつては両岸から砂州が伸び、河道中央に流路が形成されて、出水により砂州がフラッシュされてきました。しかし、現在は右岸砂州の規模が拡大する一方、左岸砂州の後退が顕著に見られるようになり、砂州フラッシュへの影響、及び左岸の護岸施設への影響などが問題となっています。その問題を解決するため、平成30年3月に有識者からなる「検討委員会」を設立し、各管理者(河川管理者、国と県の空港、港湾管理者)が連携・協力しながら、河道全体の対策・維持管理による容易な河口砂州管理の実現を目指した対策を行っています。



河口部の維持管理② ～堤防護岸の管理～

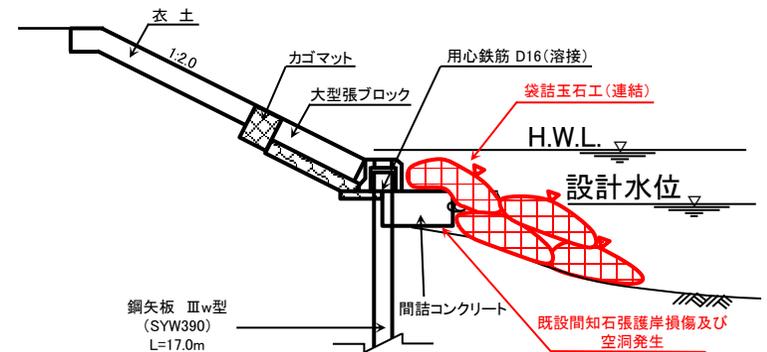
近年の阿賀野川河口における左岸砂州の規模縮小・上流への移動により、波浪が堤防護岸に直接打ち上がる事となりました。このためブロック等により波浪減勢措置を実施しています。引き続き現地状況に応じた抜本的対策工も検討中です。

また、河口部右岸(新潟市北区松浜)には特殊堤がありますが、設置後50年以上経過し、冬季風浪の影響も直接受ける区域である事から、定期点検を行い、変状が確認された場合は必要な補修を行っています。

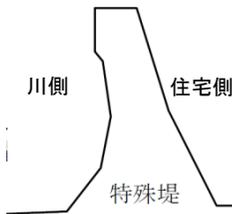


空港進入灯上流(L0.2k)の様子 (新潟港 有義波高3.5m※)

※リアルタイム ナウファス (国土交通省港湾局 全国港湾海洋波浪情報網)



応急対策工法



特殊堤横断面図



特殊堤のクラック



クラック補修後

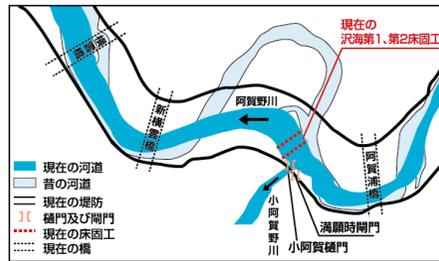
沢海・渡場床固の維持管理

沢海床固は、第1期阿賀野川改修事業(大正4年から昭和8年)の河道改修に伴う河床低下防止を目的に設置され、また渡場床固は流路の固定、河床低下防止等を目的に設置され、それぞれ効果を発現しています。

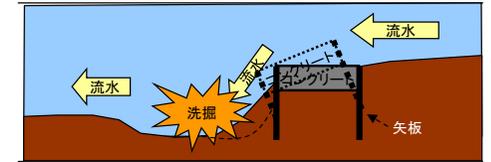
これらの機能が十分に発揮されるよう出水後に測量等を行い、変状の有無・程度を確認して、必要な場合は補修を行います。



上流側：沢海第二床固(S27年度設置)
下流側：沢海第一床固(S4年度設置)



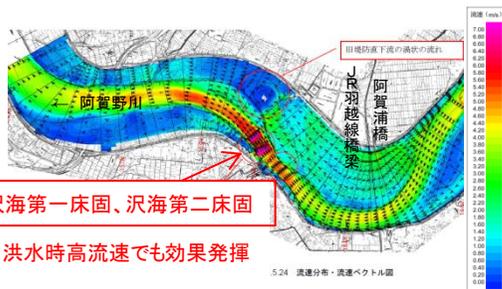
第一期改修工事による河道改修と沢海床固工群



下流部河床深掘れの進行で床固倒壊の危険あり

第1期阿賀野川改修事業によって、沢海付近は洪水を安全に流すために、川が大きく蛇行していた部分を直線的に結ぶ捷水路が施工されました。短くなった分、川の勾配は急となり、流れは速くなるので河床が削られやすくなります。そのため昭和3~4年度にかけて第一床固が施工されました。その後、歳月がたつにつれて河床の低下が目立ち始めたので、新たな床固の必要性が生まれ、昭和25年~27年度にかけてその上流に第2床固がつくられました。

現在、洪水時の高流速にも効果を発揮し下流河床は安定しております。



沢海第一床固、沢海第二床固

洪水時高流速でも効果発揮

5.24 流況分布・流速ベクトル図

平成23年7月洪水で再現した平面2次元流の流れ
(赤は流速7m/s範囲)

渡場床固(S32年設置)

(渡場床固の上流部に関わる目的・効果)

- ①上流河道の河床低下防止(原油流出区間等：草水地先)
- ②上流農業用水の取水位維持(現在は廃止)
- ③旧安田橋の洗掘防止(現在は撤去し下流に架橋)



(渡場床固の下流部に関わる目的・効果)

- ①洪水流の乱流防止
(流路の固定による論瀬地区堤防の保護等)
- ②下流旧河道ショートカット部の河床の安定化
- ③下流河道の河床低下防止
(数度流失・被災した安田橋の保護等)

水衝部の監視、施設管理

～3大水衝部対策と水制工の維持管理～

阿賀野川には灰塚地区、横越地区、中新田地区など水当たりの強い箇所が存在し、これら地区は「3大水衝部」と呼ばれ、早くから対策工が設置されたことから河床高は安定傾向です。なお、中新田地区は暫定対策状況のため出水時には点検が必要な重要水防箇所となっています。

現在、灰塚地区下流部の左岸小杉地区では、平成23年7月出水後に水中部の測量を実施した結果、大規模な深掘れが確認されたため護岸を施工中です。

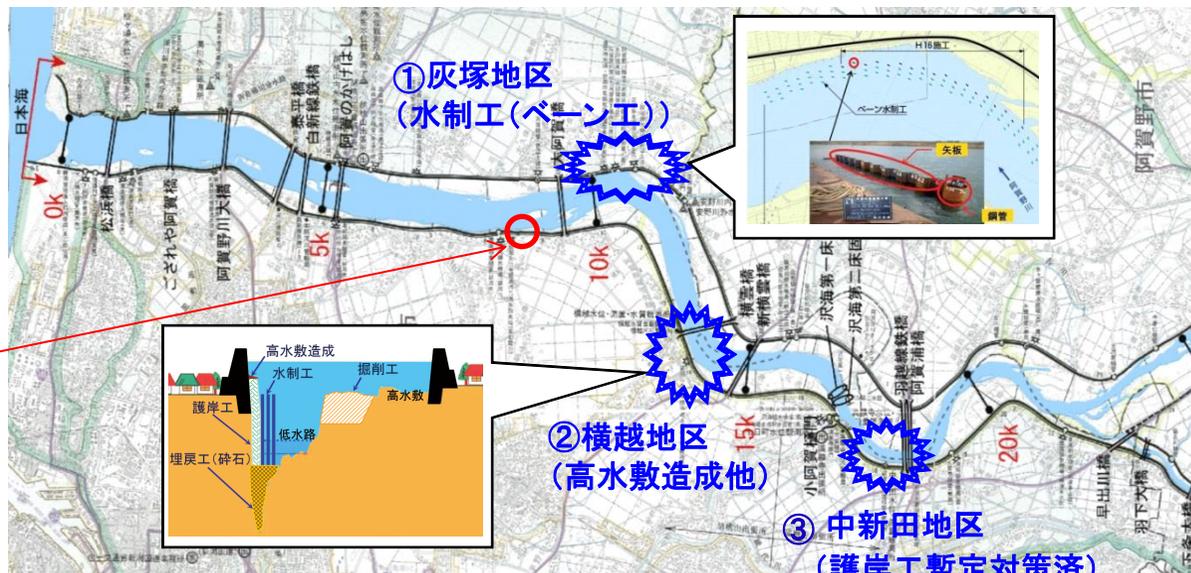
また、阿賀野川にはこれら地区のほかにも河岸侵食を防止するための水制工が設置されています。



平成27年9月洪水時の状況



水制工(松浜地区)



胡桃山排水機場・太田川排水機場の役割と点検

大規模河川管理施設である胡桃山排水機場・太田川排水機場は、治水上重要な役割を担っており、その機能が確実に維持されるよう定期点検と計画的な補修を実施し、機能維持を図っています。



- ・昭和43年 胡桃山排水機場50m³/s計画
- ・昭和52年 10m³/sのポンプ整備着手
- ・昭和53年 6月26日豪雨で内水被害発生
10m³/s→30m³/s整備に見直し
- ・昭和57年 30m³/sのポンプ整備完成
- ・平成7年 8月3日豪雨で内水被害発生
20m³/sの増強に着手
- ・平成8年 20m³/sの増強完了(計50m³/s)

◆胡桃山排水機場の整備効果

平成23年7月新潟・福島豪雨では、昭和53年と同程度の豪雨でしたが^(注)、胡桃山排水機場や新井郷川排水機場等の整備により大幅に被害が軽減。

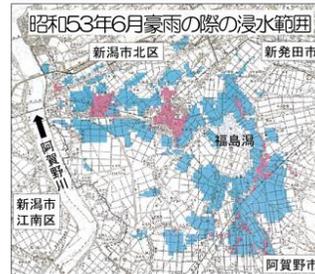
【昭和53年6月 梅雨前線豪雨】
(胡桃山排水機場なし)

浸水戸数	床下	2,238戸
	床上	161戸
	計	2,399戸
田畑の冠水面積		4,822ha

【平成23年7月 新潟・福島豪雨】
(胡桃山排水機場あり)

浸水戸数	床下	3戸
	床上	0戸
	計	3戸
田畑の冠水面積		40ha

(新潟市より)



胡桃山排水機場整備により
浸水戸数、冠水面積
ともに大幅に軽減

注) 昭和53年6月豪雨：総雨量304mm
(新潟観測所)
平成23年7月豪雨：総雨量300mm
(胡桃山観測所)



胡桃山排水機場 制御盤点検



胡桃山排水機場 ポンプ点検

太田川排水機場では、平成23年7月の新潟・福島豪雨により太田川沿川で湛水被害が発生したことから、平成25年度に緊急排水ポンプ1.5m³/sが増強されました。

太田川排水機場	5.2m³/s
緊急排水ポンプ	1.0m³/s (従来)
同上	1.5m³/s (増設)
計	7.7m³/s



平成23年7月新潟・福島豪雨での出水状況

堤防除草 ～処理費用縮減と環境負荷低減の取り組み～

堤防表面の植生は、法面(のりめん)を流水や降雨から保護する役目を持っていますが、繁茂し過ぎると点検の際に堤防表面が見えず、異状を発見できなかつたり、害虫発生など周辺環境等にも影響を及ぼすことから、年2回除草を行っています。

除草後の刈草は、従来の焼却処理に代わる刈草の有効活用としての無償提供や大型除草機械活用により、環境負荷低減とコスト縮減の取り組みを行っています。

堤防除草の目的・必要性・事業効果等

- ①堤防の機能維持
- ②堤防の変状箇所の把握
- ③不法投棄、野火、病虫害の抑制
- ④河川利用の推進

大型遠隔操縦式
除草機の導入



コスト縮減の取り組み

- ①大型機械の適用拡大
- ②刈草処理の低コスト化



刈草の全量無償提供

堤防の機能維持



堤防の変状の早期発見

不法投棄、野火、
病虫害の抑制



除草作業中に集積したゴミ等

河川利用の推進



利用しやすい環境の維持

家畜飼料や
マルチング材に利用



処理費用
の縮減

樹木伐採 ～3つのコスト削減の取り組み～

河川内の樹木は、洪水時に流れの妨げとなって、さらには流された樹木により、堤防や護岸などの河川管理施設に損傷等を与える危険性があり、治水上問題となっています。また、河川巡視の際に視野も遮られ、ゴミの不法投棄の温床となっています。このような河川管理上支障がある樹木の伐採を、計画的に実施しています。

樹木伐採にあたっては、経費の節約と伐採木の有効活用を図るため、①希望する方へ伐採木を無償提供、②自治体にバイオ燃料用として無償提供、③切り株の萌芽抑制の取り組みを行っています。

伐採木（細断後）



① 希望者へ無償提供

運搬費、処分費が縮減。薪ストーブやキノコ栽培等に活用している。



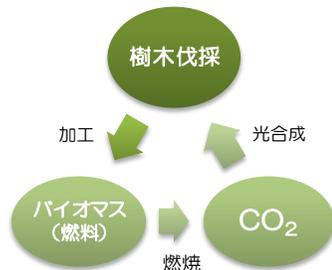
② バイオ燃料用として自治体へ無償提供

運搬費、処分費を縮減。自治体は伐採木をバイオ燃料に活用している。



ペレット材（燃料）

バイオ燃料の循環



③ 切り株の萌芽抑制の試験施工

切り株の根株除去は高額になるため、萌芽抑制対策を行うことで、伐採費全体を縮減。令和元年から覆土による追加試験を実施中。令和6年度は樹皮剥皮を実施。



削孔・塩挿入



覆土



樹皮剥皮



出水期に備えた洪水時の対応演習

出水期を前に、関係機関と合同で大規模洪水を想定した対応演習(机上訓練)を実施しました。水防団(消防団)の出動指針となる水防警報伝達、气象台と共同で行う洪水予報の発表、水門・排水機場など河川管理施設の操作状況確認、堤防被災箇所への応急復旧工法検討など実践的な総合演習を行い、防災体制に万全を期すことを目的としています。

■実施日時： 令和6年5月15日(水) 9:00～17:00

■場 所： 阿賀野川河川事務所4階 災害対策室ほか

■参加機関：

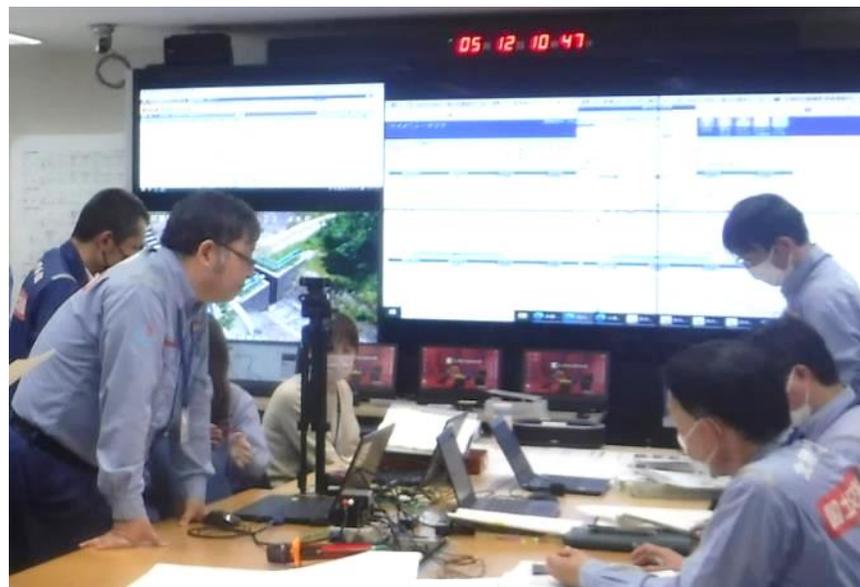
北陸地方整備局・阿賀野川河川事務所・新潟県・新潟市

阿賀野市・五泉市・阿賀町・新発田市・新潟地方气象台

(財)河川情報センター・東北電力(株)

■主な演習内容：

- 関係機関への洪水予測、水防警報等の情報伝達
- ホットラインによる事務所長と市長間の情報共有訓練
- 河川管理施設の操作状況、被害、水防活動情報伝達
- 災害対策車両の出動要請
- 災害箇所の応急復旧工法検討、出動要請



昨年度の様子

出水に備え地域の皆さんと重要水防箇所への合同巡視

当事務所と関係機関では、本格的な梅雨期に向けて、また「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取り組みの一環として、有事の際に速やかに有効かつ適正な対応を可能とすることを目的に、阿賀野川における重要水防箇所（洪水時に危険な箇所）の把握及び確認、並びに各機関が管理する水防倉庫等の位置、備蓄資材の確認を行っています。

■ 日 時： 令和6年6月12日（水）

■ 参加機関：阿賀野川河川事務所、新潟県、新潟市、阿賀野市、五泉市、
新潟市 各消防団・消防署、五泉市 消防本部、
東北電力（株）会津若松支社、東日本旅客鉄道（株）新潟支社

■ 点検箇所：阿賀野川河口から五泉市馬下地先までの国土交通省管理区間



新潟市江南区小杉



新潟市濁川水防倉庫



阿賀野市下里
（羽越本線鉄橋）



中新田災害対策機械等格納庫

阿賀野川専門防災エキスパートとの連携強化

～経験生かした防災活動支援と技術の伝承～

専門防災エキスパートは、「管内において地震・風水害等の自然災害や水質事故等の災害が発生、または発生する恐れがある場合に、防災業務に関する応援をボランティアとして行う」事を目的とした、国土交通省OBの組織です。当事務所では13名の登録があり、その専門的知識と経験に基づく支援を得ています。

令和6年6月25日(火)には「阿賀野川専門防災エキスパート会議」を開催し、職員と専門防災エキスパートが管内の現地調査を実施しました。



現地調査(東区松浜町地先)



現地調査(五泉市下条地先)

川の水質事故を未然に防ぐために ～阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会～

阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会では、阿賀野川流域内の河川で発生する油流出などの水質事故を防止するための活動を進めてきました。阿賀野川流域は福島県と新潟県にまたがることから、協議会は阿賀野川流域部会<新潟県>と阿賀川流域部会<福島県>の2部会を設けており、**阿賀野川流域部会**を下記のとおり開催しました。

阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会

阿賀野川水系の河川及び水路などの公共用水域での、油の流出などといった「水質事故」への対策や、川の環境保全を目的として、流域の国・県・市町村・水道事業者など関係機関が相互に協力、連絡調整を図るため、昭和50年に設置された協議会です。

協議会構成機関

北陸地方整備局、関東経済産業局、東北経済産業局、新潟県、新潟市、新発田市、五泉市、阿賀野市、阿賀町、福島県、郡山市、会津若松市、喜多方市、南会津地方町村、耶麻地方町村、両沼地方町村、岩瀬郡天栄村
信濃川・阿賀野川両水系水質協議会
会津若松地方広域市町村圏整備組合

阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会 阿賀野川流域部会

- 日時 事業計画の承認及び意見の回収
令和6年6月6日まで
- 開催形式 書面開催
- 内容 令和5年度事業報告、令和6年度事業計画、他



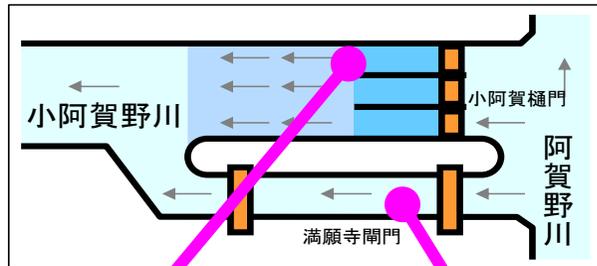
水質事故対応訓練の様子

満願寺閘門アユ・サケ遡上フォロー操作支援

阿賀野川から分流し信濃川に合流している小阿賀野川は、アユやサケ、モクズガニ等の遡上経路となっていますが、分流点の小阿賀樋門及び満願寺閘門により遡上しづらい状態にありました。このため河川管理上支障のない範囲で魚が遡上しやすいように試験的にゲート操作を実施しています。



小阿賀樋門
サケの遡上期に、下流側にはH型鋼を設置し、水面落差を軽減



満願寺閘門
アユの遡上期に右図のようにゲートの管理運転に合わせ、閘室内へアユを進入させ、阿賀野川へ遡上させることを実施

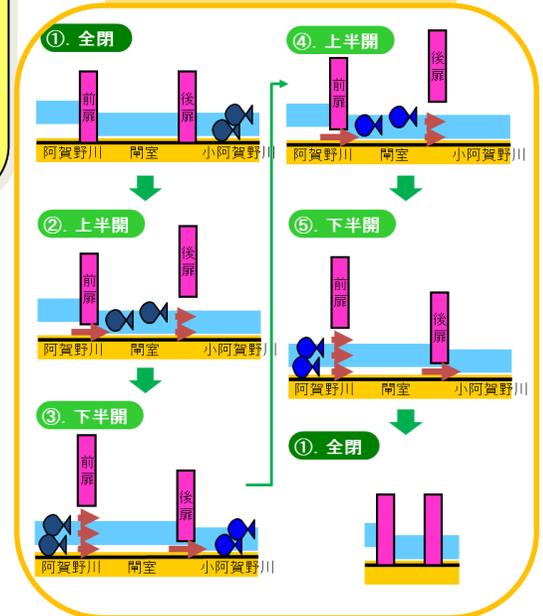


小阿賀樋門の下流側の水面落差
落差が80cm以上ではサケの遡上が難しい



満願寺閘門の閘室に進入した稚アユの群れ
(H24.6.4)

閘門の手动操作パターン



阿賀野川自然再生モニタリング検討会

～かつての河川環境の再生を目指して活動～

平成25年度より阿賀野川・早出川の自然再生に取り組んでいます。

自然再生事業を進めるにあたっては、事業箇所への調査、分析、評価等について助言を頂くため、専門的知識を有する学識者からなる、「阿賀野川自然再生モニタリング検討会」を平成26年12月に設置し、令和6年度は第15回検討会を開催し、委員の方々より意見を伺いました。



第15回阿賀野川自然再生モニタリング検討会開催内容

1. 日時
令和6年12月2日(月)13時30分～16時30分
2. 場所
阿賀野川河川事務所2階 会議室
3. 議事
 - ・第14回検討会でのご意見
 - ・中期的対応箇所への進捗状況について
 - ・今後の予定

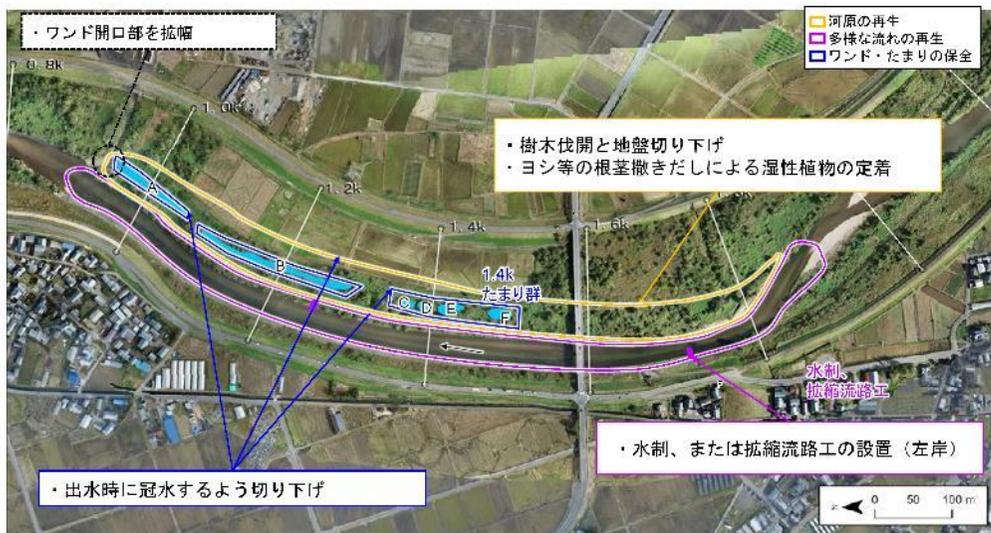


図 整備方針 (案)

「阿賀野川自然再生モニタリング検討会」委員名簿

委員	紙谷 智彦	新潟大学名誉教授
	千葉 晃	新潟県野鳥愛護会 代表
	馬場 吉弘	新潟県立海洋高等学校 教諭
	藤田 正明	阿賀野川漁業協同組合 福組合長
	安田 浩保	新潟大学災害・復興科学研究所 准教授
阿賀野川河川事務所長		
オブザーバー	新潟市 環境政策課	
	阿賀野市 建設課	
	五泉市 都市整備課	

地元小学生の「川の総合学習」を支援

～小学校の治水施設見学・現場体験を支援～

令和6年9月17日(木)に新潟市立岡方第一小学校の5・6年生27名、10月18日(金)に五泉市立愛宕小学校の3・4年生27名を対象に出前講座等を開催しました。

(愛宕小学校)

災害対策用機械の学習。
ポンプ車や照明車の機能や役割について、見学を通して理解を深めました。



(岡方第一小学校)



流る水の働きについて学びました。講座で学んだ知識を活かし、クイズに積極的に参加しました。

(岡方第一小学校)



小柳建設さんとの共催講座。現場見学では、ドローン体験や樹木伐採について関心を示していました。

地元小学生と一緒に水生生物調査

早出川の水質・水生生物調査を実施 ～愛宕小学校と巢本小学校の総合学習を支援～

令和6年9月4日(水)に五泉市立愛宕小学校4年生27名、令和6年9月5日(木)に五泉市巢本小学校4年生19名を対象に総合学習支援の出前講座を実施しました。児童は、学校近くの早出川の善願橋下流付近で直接水を採取して、その水質(COD、pH)の調査を行いました。さらに川に入って川底の石をはがしたりしながら水生生物を採取し、その種類や数を集計し川のきれいさの調査を行いました。この調査により、今の早出川がいかに綺麗なのかを確認し、それを保つために自分たちは何ができるか学習しました。



張り切って、楽しみながら生物採取



採取した生物を調べている様子



綺麗な水の
流れる川に
いるカワゲラ

ボランティアサポートプログラム(VSP)

阿賀野川河口部のアキグミ植栽

1. ボランティアサポートプログラム

阿賀野川河口部に位置する松浜地区では、日本海からの冬期風浪などの強風による飛砂が、地域の課題となっていました。松浜自治振興会が主体となり、新潟市と阿賀野川河川事務所が協力を目的とした「ボランティアサポートプログラム協定」を締結しました。

令和6年度10月にアキグミの植栽が実施されました。

2. アキグミの植栽

令和6年10月17日に、新潟市、地元自治体、松浜小学校4年生の参加のもと、アキグミの植栽が行われました。新潟市からの苗木に加え、VSP協定に基づいた阿賀野川河川事務所からの苗木の提供で、合計1,800株もの大規模な植栽となりました。

地元の住民からは「引き続きこのような活動を行っていききたい」との声が聞かれました。



「ひょうたん池」
海に近い場所でありながら、地下水の湧水により「淡水」の池です。この池には、淡水に生息する多くの動植物が確認されています。

アキグミ植生作業

数年前に植栽し、成長したアキグミ

阿賀野川をきれいにする会(クリーン作戦)

阿賀野川には「阿賀野川をきれいにする会」という、川を愛する有志団体があります。

この会は、阿賀野川下流域の沿川自治会、河川占有者、マリンスポーツ団体などの方が会員となって、阿賀野川の清掃など奉仕活動を行うことを目的として、平成4年に設立されました。

本会の特徴として、清掃活動そのものは各団体の計画による独自の取り組みとしています。事務所はこの会の事務局として年1回の総会を運営しており、毎年、各会員の清掃活動の報告、今後の活動方針の審議及び意見集約を行っております。

令和5年度の清掃活動としては、20団体、延べ約600名の方が阿賀野川の美化活動に参加し、沿川の多くの方々が自然豊かな阿賀野川を支える大切なサポーターとなっています。

会員の清掃活動状況



本所自治会



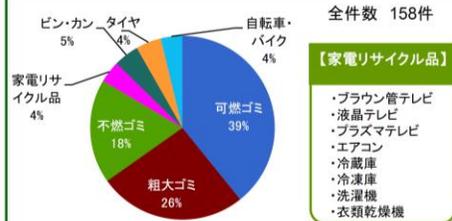
江口自治会



ショアジェットチーム

やめよう不法投棄、美しい阿賀野川をいつまでも

令和6年度種類別ゴミ投棄割合

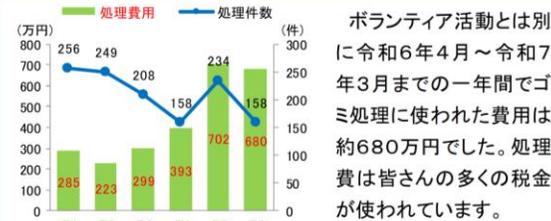


阿賀野川を守るために多くの労力が必要です

阿賀野川を美しくするために、様々な団体や自治会等がボランティアで清掃活動を行っています。

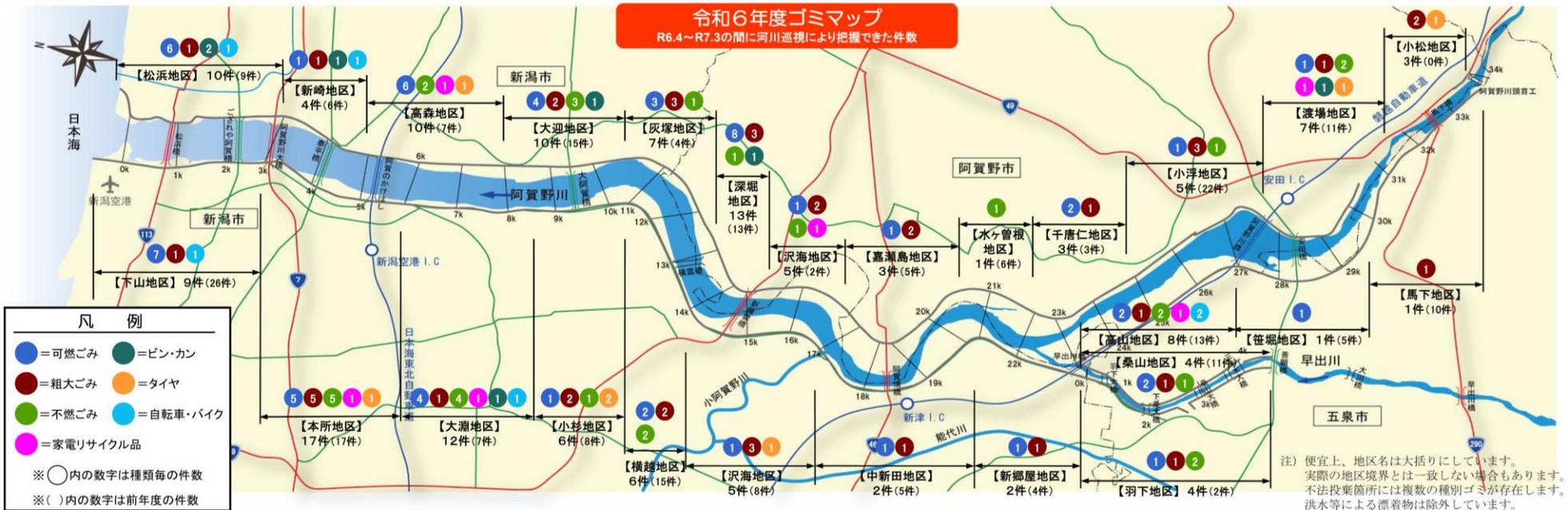


ゴミ処理にはこんなに費用が掛かります



不法投棄防止対策

- ・防止看板の設置
- ・監視カメラの増設



ゴミの不法投棄は法律により厳しく罰せられます



【河川法施行令】
3ヶ月以下の懲役または20万円以下の罰金

【廃棄物の処理及び清掃に関する法律】
5年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金またはこの併科

●不法投棄は、警察に通報する場合があります。
※家屋解体で出た壁材や木材などの廃棄物約2トンを阿賀野川河川敷に不法投棄した者が令和元年5月に逮捕されました。

不法投棄の監視をしています



発見したら連絡をお願いします

このマップの範囲内で不法投棄を見た、捨てられている場所がある等の情報がありましたら連絡をお願いします。

【連絡先】

国土交通省阿賀野川河川事務所 <https://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>

管理課 TEL 0250(23)4367 FAX 0250(23)3143
 胡桃山出張所 TEL 025(386)7181 FAX 025(388)3908
 満願寺出張所 TEL 0250(22)1132 FAX 0250(23)3778

